

安全データシート (SDS)

製品名 : S-100 (C, K, S, Mc)

1. 化学品及び会社情報


名称 : 樹脂エマルジョン
製造元 : 日本マテリアイド株式会社
郵便番号 : 530-0005
住所 : 大阪市北区中之島 2-3-18 フェスティバルタワー 19F
電話番号 : 06-6223-7746
FAX 番号 : 06-6223-7747

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性 : 爆発物 分類できない
: 可燃性又は引火性ガス 分類対象外
: エアゾール**分類対象外**
: 支燃性又は酸化性ガス類 分類対象外
: 高圧ガス 分類対象外
: 引火性液体 分類できない
: 可燃性固体 分類対象外
: 自己反応性化学品 分類できない
: 自然発火性液体 分類できない
: 自然発火性固体 分類対象外
: 自己発熱性化学品 分類できない
: 水反応可燃性化学品 分類できない
: 酸化性液体 分類できない
: 酸化性固体 分類対象外
: 有機過氧化物 分類できない
: 金属腐食性物質 分類できない

健康有害性 : 急性毒性(経口) 分類できない
: 急性毒性(経皮) 分類できない
: 急性毒性(吸入: 気体) 分類できない
: 急性毒性(吸入: 蒸気) 分類できない
: 急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト) 分類できない
: 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 分類できない
: 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 分類できない
: 呼吸器感作性 分類できない
: 皮膚感作性 分類できない
: 生殖細胞変異原性 区分 1B
: 発がん性 分類できない
: 生殖毒性 分類できない
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない

| | |
|----------------|--|
| 環境有害性 | <ul style="list-style-type: none"> : 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない : 吸引性呼吸器有害性 分類できない : 水生環境有害性(急性) 区分 2 : 水生環境有害性(長期間) 区分 1 : オゾン層への有害性 分類できない |
| 絵表示 (GHS-JP) | :  |
| 注意喚起語 (GHS-JP) | : 危険 |
| 危険有害性情報 | <ul style="list-style-type: none"> : 遺伝性疾患のおそれ。 (H340) 水生生物に毒性 (H401) 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 (H410) |
| 安全対策 | <ul style="list-style-type: none"> : 使用前に取扱説明書を入手すること。 (P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 (P202) 環境への放出を避けること。 (P273) 適切な保護手袋, 保護衣, 保護眼鏡, 保護面を着用すること。 (P280) |
| 応急措置 | <ul style="list-style-type: none"> : ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。 (P308+P313) 漏出物を回収すること。 (P391) |
| 保管 | : 施錠して保管する。 (P405) |
| 廃棄 | : 内容物/容器を国際, 国, 都道府県, 市町村の規則に従って廃棄すること。 (P501) |

3. 組成及び成分情報

一般名 : 樹脂エマルジョン

| 名称 | 濃度 | 官報公示整理番号 | | CAS 番号 |
|---------------------|----------|----------|-------|-----------|
| | | 化審法番号 | 安衛法番号 | |
| アクリル系・シリコーン系・ウレタン樹脂 | 17 - 20% | 登録済 | 既存 | 登録済 |
| 酸化チタン (IV) | < 3% | 登録済 | 既存 | 登録済 |
| シリカ (アモルファス) | < 3% | 登録済 | 既存 | 登録済 |
| 防カビ剤 | < 0.3% | 登録済 | 既存 | 登録済 |
| 水 | 75 - 78% | — | — | 7732-18-5 |

4. 応急措置

| | |
|-----------|--|
| 吸入した場合 | : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸のし易い姿勢で休息させる。直ちに医師の診断を受ける事 |
| 皮膚に付着した場合 | : 付着した衣類、靴をぬぎ、付着した部分を大量の水や石鹸水を使ってよく洗う。外観に変化が見られたり、痛み、かゆみが出たときは直ちに医師の診断を受ける |

- 眼に入った場合 : 直ちに大量の水でまぶたの内側を20分以上洗い流すこと。コンタクトレンズを外せる場合は外す。医師の診断を受ける
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよくすすぎ、直ちに医師の診断を受ける
- 意識の無い被災者には口から何も与えてはならない
-

5. 火災時の措置

- 適した消火剤 : 強化液
泡消火剤
水
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 消火を行う者の保護 : 適切な保護具を着用し直接接触を避ける。消火作業は風上から行う
- 特有の危険有害性 : このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃物である
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する
延焼の恐れのないように水スプレーで周囲を冷却する
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 付近の着火源を取り除き、風上から作業する
状況に応じて保護具（呼吸用保護具、手袋、長靴、眼鏡、マスク）を着用し、当該物の吸入や直接接触を避ける
- 環境に対する注意事項 : 当該物質を水域、土壌に放出してはならない
河川、湖沼へ流出した場合には、必要に応じ消防署、都道府県市町村等に連絡をとる
- 回収・中和方法 : 多量の場合はバキューム等で汲み上げ回収する
少量流出の場合はおが屑、土砂、パーライト等を混ぜ、モルタル状として凝集回収する
- 封じ込め及び浄化方法及び機材 : 砂、シリカゲル等の吸着物質で吸着させる。廃棄用の専用容器に入れる
- 二次災害の防止策 : 河川、湖沼へ流入した場合には、必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡をとる
-

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 鉄、銅、亜鉛、アルミ等の多価金属イオンは着色・ゲル化等の現象を起こす可能性があるため、製品貯蔵・配管・ブレンダー等の選択には注意が必要
換気の良い場所で使用すること
- 局所排気・全体換気 : スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は局所排気装置を設置する
- 安全取扱注意事項 : 眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用すること
-

| | |
|-----------|---|
| | 容器を転倒・落下させる、引きずる又は容器に衝撃を加える等の粗暴な取り扱いをしない |
| 接触回避 | : 情報なし |
| 保管 | |
| 技術的対策 | : 皮張り防止のため、使用後は密閉して貯蔵する |
| 安全な保管条件 | : 保管時の温度が5℃以下、又は35℃以上にならないようにする 凍結、直射日光を避け屋内に保管する 開封した使用中の包装容器に、ゴミ等が入らないようにする |
| 安全な容器包装材料 | : 耐水性・耐久性のある容器を使用し、金属との接触はなるべく避けるようにすること 移し換える場合には腐食防止のために、ステンレス又はポリエチレン容器 |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|-------------|--|
| 管理濃度 | : データなし |
| 許容濃度(産衛学会) | : データなし |
| 許容濃度(ACGIH) | : データなし |
| 設備対策 | : 屋内作業所での使用は、密閉装置又は局所排気装置を設置する 取り扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する |
| 呼吸用保護具 | : 換気の良い場所で通常の条件下では不要 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する |
| 手の保護具 | : 不浸透性の防護手袋 |
| 眼の保護具 | : 側板付き保護眼鏡 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 防護長靴、防護服 |
| 衛生対策 | : 作業が終わった時、飲食、トイレ、喫煙前には手を洗う 作業中は飲食、喫煙はしない |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-------------------------|----------------------------------|
| 外観 | : 薄褐色液体、薄黒色液体 |
| 物理的状态 | : 液体 |
| 融点 | : データなし |
| 沸点 | : ≈ 100 °C |
| 引火点 | : なし |
| 自然発火温度 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 相対蒸気密度 (20 °C) | : データなし |
| 比重 | : ≈ 1.1 g/cm ³ (相対密度) |
| 溶解度 | : 水に無限大に希釈可能 |
| n-オクタノール/水分配係数(Log Pow) | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |

爆発範囲（上限、下限）（g/m³） : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 水との反応性なし
化学的安定性 : 室温では安定
危険有害反応可能性 : 知見なし
避けるべき条件 : 知見なし
混触危険物質 : 知見なし
危険有害な分解生成物 : 燃焼時は有害ガス（一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド類）を発生する

11. 有害性情報

急性毒性（経口） : データなし
急性毒性（経皮） : データなし
急性毒性（吸入:気体） : データなし
急性毒性（吸入:蒸気） : データなし
急性毒性（吸入:粉末） : データなし
急性毒性（吸入:ミスト） : データなし
眼に対する重篤な損傷又は刺激性 : データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : データなし
生殖細胞変異原性 : 製品自体の試験データはないが、以下の区分の生殖細胞変異原性物質を含む。区分1 B : 防カビ剤（< 0.3%） 区分1 Bの濃度限界値は≥ 0.1% よってこの製品はGHS分類で生殖細胞変異原性区分1 Bに相当する。
発がん性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし
吸引性呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性) : 製品自体の試験データは無いが、以下の区分の水生環境有害性物質（急性）を含む。区分1 : 防カビ剤（< 0.3%） GHS 4.1.3.5.5の濃度加算式を利用すると、この製品はGHS分類の水生環境有害性（急性）区分2に相当する。
水生環境有害性(長期間) : 製品自体の試験データは無いが、以下の区分の水生環境有害性物質（長期間）を含む。区分1 : 防カビ剤（< 0.3%） GHS 4.1.3.5.5の濃度加算式を利用すると、この製品はGHS分類の水生環境有害性（長期間）区分1に相当する。
生態毒性 : データなし
魚毒性/その他 : 河川等に流出した場合はエマルジョン中の樹脂の粘着による呼吸困難のため、魚類が死亡する可能性がある

| | |
|----------------|---------|
| 残留性・分解性 | : データなし |
| 生化学的酸素要求量(BOD) | : データなし |
| 化学的酸素要求量(COD) | : データなし |
| 生体蓄積性 | : データなし |
| 土壌中の移動性 | : データなし |

13. 廃棄上の注意

| | |
|------------|---|
| 残余廃棄物 | : 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄処理業者に委託すること |
| 汚染容器及び包装廃棄 | : 内容物や包装材料の処理は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄処理業者に委託すること 空容器を廃棄する場合は、容器内を完全に除去した後 に処分する |

14. 輸送上の注意

国際規制

| | |
|-----------|--------------------|
| 海上規制情報 | : IMOの規定に従う。 |
| 国連番号 | : 3082 |
| 品名 | : 環境有害物質（液体） |
| 国連分類 (UN) | : 9 |
| 容器等級 (UN) | : III |
| 航空規制情報 | : ICAO/IATAの規定に従う。 |
| 国連番号 | : 3082 |
| 品名 | : 環境有害物質（液体） |
| 国連分類 (UN) | : 9 |
| 容器等級 (UN) | : III |

国内規制

| | |
|-----------|----------------|
| 海上規制情報 | : 船舶安全法の規定に従う。 |
| 国連番号 | : 3082 |
| 品名 | : 環境有害物質（液体） |
| 国連分類 (UN) | : 9 |
| 容器等級 (UN) | : III |
| 航空規制情報 | : 航空法の規定に従う。 |
| 国連番号 | : 3082 |
| 品名 | : 環境有害物質（液体） |
| 国連分類 (UN) | : 9 |
| 容器等級 (UN) | : III |

指針番号 : 171

その他の情報 : 輸送に際しては包装に漏れのないことを確かめ、破袋、落下、損傷等がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にし、"7 取扱い及び保管上の注意"の記載にも注意する

15. 適用法令

| | | |
|----------------------|---|---|
| 化審法 | : | 規制されていない |
| 労働安全衛生法 | : | 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9） 酸化チタン（I V）（政令番号：191）（<3%） シリカ（政令番号：312）（<3%） |
| 消防法 | : | 規制されていない |
| 海洋汚染防止法 | : | 規制されていない |
| 船舶安全法 | : | 有害性物質（危規則第2，3条危険物告示別表第1） |
| 航空法 | : | その他の有害物質（施行規則第194条危険物告示別表第1） |
| 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） | : | 規制されていない |

16. その他の情報

| | | |
|--------|---|---|
| 参考文献 | : | 引用文献 1. 原料メーカーの「安全データシート」 2. GHS第4版 3. NITE GHS分類結果 |
| その他の情報 | : | 本製品は一般工業向けに開発されたものです。特殊な用途へのご使用に際しては、貴社にて安全性をご確認の上ご使用下さい。本品のご使用またはお取扱いに際しましては、事前に本SDSにより、製品を取扱う全ての人々に対して、本SDSの情報及びその他の安全・災害に関わる情報の周知徹底をお願いいたします。記載内容は現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません |

インベントリー情報

| 国名 | 化学物質名簿 | 収載状況 | 国名 | 化学物質名簿 | 収載状況 |
|----------|--------|------|----------|--------|------|
| アメリカ合衆国 | TSCA | 未収載 | 韓国 | KECI | 未収載 |
| 欧州連合（EU） | EINECS | 未収載 | 欧州連合（EU） | REACH | 未登録 |
| カナダ | DSL | 未収載 | 中華人民共和国 | IECSC | 未収載 |
| オーストラリア | AICS | 未収載 | フィリピン | PICCS | 未収載 |
| ニュージーランド | NZIoC | 未収載 | 台湾 | ECN | 未収載 |

－以上－